

ココねっ♡と  
(こころネットワーク福山)

「べてるの家」が

講演会の  
お知らせ

福山にくるでえ～！



Bethel

2018年度 市民のための精神保健福祉講演会

テーマ：自分の苦勞とのつきあいかた、



助けかたを探そう

今日の気分 体調は



— 支援者にも役立つ当事者研究 —

日時：2019(平成31)年 2月17日(日曜日) 12:00～15:00 (11:00 受付開始)

会場：福山市男女共同参画センター [福山市西町 1-1-1 エフピコRiM 地下2F]

講師：向谷地 生良さん、むかいやち いくよし「べてるの家」のスタッフ & メンバーさん

主催：ココねっ♡(こころネットワーク福山)

参加費：500円《定員 150人》 次の方法で申し込みください

1) オンライン決済のサイトから ⇒ <http://bit.ly/2AAunGC>



2) 申し込みフォームから ⇒ <http://bit.ly/2RB12Fz>

申し込みと同時に次の銀行口座に振り込んでください

広島銀行 福山手城支店 / 普通口座: 3079057

口座名義: こころネットワーク福山 代表世話人 長崎和則

(こころ ねっ♡わーく ふくやま だいひょうせわにん ながさきかずのり)



3) チケットを問い合わせ先(下に記入)からご購入ください

※注：駐車場はありますが有料です。  
公共交通機関をご利用ください。

当事者研究とは、精神障害を持つ当事者が  
自分自身のことを研究すること。どうにも  
ならない自分を、他人事のように考えてみる。  
不思議な研究。  
だから、合い言葉は、「自分自身で、共に」。  
そして、「無反省でいこう」。

2006年に始めて開催した「べてるの家」が福山にくるでえ～講演会。今回は、7回目の講演会です。2012

年2月から開催している広島当事者研究会も78回を越えました。福山でレッツ！当事者研究。

問合せ先：長崎 和則(こころネットワーク代表世話人)080-4264-0994  
NPO 法人びいあらいぶ 070-5676-6367  
遊心工房 084-923-2024(FAXも同じ)

## 「べてるの家」のプロフィール

### べてるの家とは

べてるの家は、1984年に設立された北海道浦河町にある精神障害等をかかえた当事者の地域活動拠点です。べてるの家は、有限会社福祉 ショップべてる、社会福祉法人浦河べてるの家、NPO 法人セルフサポートセンター浦河などの活動があり、総体として「べてる」と呼ばれています。生活共同体、働く場としての共同体、ケアの共同体という3つの性格を持っていて、100名以上の当事者が地域で暮らしています。



### べてるのはじまり

べてるの家は1978年に回復者クラブどんぐりの会の有志メンバー数名が浦河教会の旧会堂を拠点として活動をはじめたのがはじまりです。

1983年、浦河日赤病院の精神科を退院した早坂潔さんをはじめとする精神障がいを経験した回復者数名が、浦河教会の片隅で昆布の袋詰めの下請け作業をはじめ、1984年に当時浦河教会の牧師だった宮島利光氏から、「べてるの家」と命名されました。現在では、精神障がいばかりではなく、様々な障がいを持った当事者が活動に参加しています。

### 「地域のために、日高昆布を全国に売ろう！」

べてるの家の歩みは、様々な悪条件を好条件とし活かしてきた歴史から生まれたものです。社会的な支援体制の乏しさや地域経済の弱体化が、精神障がいを抱えながら生きようとする当事者自身の生きづらさと重なり合ったとき、「地域のために、日高昆布を全国に売ろう」という起業の動機につながりました。

### 浦河町とは

北海道の東南、襟裳岬にほど近い人口1万3千人の町です。スローガンは「丘と海とまきば」。サラブレットや日高昆布で有名な町です。

### べてるの家の理念

- ・弱さの情報公開
- ・べてるに来れば病気になる
- ・勝手に治すな自分の病気
- ・昇る人生から降りる人生へ
- ・それで順調
- ・安心してサボれる職場づくり
- ・手を動かすより口を動かせ
- ・幻聴から幻聴さんへ
- ・弱さを絆に
- ・公私混同大歓迎
- ・利益のないところを大切に
- ・そのまんまがいいみたい
- ・苦勞を取り戻す
- ・三度の飯よりミーティング
- ・自分でつけよう自分の病気
- ・偏見差別大歓迎
- ・場の力を信じる
- ・べてるに染まれば商売繁盛



注：この紹介文は「べてるの家」HPより転記しました。

URL : <http://bethel-net.jp/betheltoha.html>